

1月26日（月）

1月24日から1月30日までの1週間、<sup>ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん</sup>全国学校給食週間がスタートしています。

学校給食は明治時代、<sup>めいじじだい</sup><sup>やまがたけん</sup>山形県の鶴岡市というところでお昼ごはんを持って来られない子どもたちに、おにぎり<sup>つけもの</sup>と漬物を用意したのが始まりです。その後、少しずつ全国に広まった給食ですが、<sup>だいにじ</sup>第二次<sup>せかいたいせん</sup>世界大戦という大きな戦争<sup>せんそう</sup>があったために<sup>ちゅうだん</sup>中断されてしまいました。戦争<sup>せんそう</sup>が終わった後、ユニセフという<sup>こくさいてき</sup>国際的な<sup>しえんだんたい</sup>支援団体により、パンと<sup>だっしふんにゅう</sup>脱脂粉乳の給食が再開され、<sup>えいようぶそく</sup>栄養不足の子どもたちを救いました。これを記念して、<sup>ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん</sup>全国学校給食週間が始まりました。今は、豊かになった日本ですが、昔<sup>ふ</sup>を<sup>かえ</sup>振り返り食べものに感謝したり、食生活を見つめ直したりする1週間が<sup>ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん</sup>全国学校給食週間です。

きょうは、<sup>ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん</sup>全国学校給食週間を記念して、昔の給食を<sup>さいげん</sup>再現したおにぎり<sup>こんだて</sup>献立です。約900個のおにぎりを、給食室で1つ1つ調理員さんが<sup>にぎ</sup>握って作りました。大変な思いをして作ってくれた調理員さんのためにも、残さずに食べましょう。